

平成 26 年 4 月 7 日

個人向けインターネットバンキングへの不正アクセスについて（終報）

足利銀行（頭取 藤澤 智）は、平成 26 年 4 月 4 日「個人向けインターネットバンキングへの不正アクセスが確認されたことについて」をニュースリリースいたしました。現時点において、一連の集中的な不正ログイン行為は終息の様相となっております。また、現在、不正ログイン被害について、全容把握、警察への被害相談、対処・措置を実施しております。

今後も引き続き、不正アクセスに対するモニタリングの強化とともに、お客さまに ID とパスワード管理の重要性についてご理解をいただくよう努力してまいります。

記

1. 概要

4 月 4 日（金）午前 9 時頃、個人向けインターネットバンキングに対し、不正なログイン要求が集中的に実行されたことが検知されました。監視を行いながら調査を行った結果、午後 7 時頃にかけて 77,966 件の不正なログイン要求が行われ、ID とパスワードが一致したものが 15 件確認されました。

午後 7 時以降は、新たな不正なログイン要求は終息しました。また、不正送金等の被害は確認されておられません。

今回の攻撃手法は「リスト型アカウントハッキング」という手法で、弊社以外のサーバーシステムから盗取された ID とパスワードを使って不正かつ大量のログインを試みることで、同じ ID とパスワードをお使いになっているお客さまに対して不正なログインが行われる手法であると思われまます。

2. 個人情報の漏えいについて

継続調査中ですが、ID とパスワードの一致した 15 人のお客さまの個人情報が流出した可能性があります。これらのお客さまにつきましては、インターネットバンキングサービスを停止し、個別に連絡のうえパスワードの変更をお願いしております。

皆さまには、多大なるご迷惑、ご心配をおかけすることになりましたことを心よりお詫び申しあげるとともに、今後いっそうのセキュリティ対策を図っていく所存です。

3. 対策

(1) 監視体制の強化と接続元の遮断対応

- ・4月4日午前9時以降、システムベンダーと連携して監視体制を強化するとともに、不正な接続元の特定とアクセスを制限する遮断対応を行っています。

(2) 今後の対応

- ・引き続き強化した監視体制を維持し、不正なアクセスの検知と接続元の遮断対応を実施いたします。
- ・再発の防止のために警察に情報提供を行ってまいります。
- ・弊行のインターネットバンキングを含めた複数のサービスで、同じIDとパスワードをお使いになっているお客さまが不正にログインされているため、IDとパスワードの管理に関して改めて注意喚起を行ってまいります。
- ・セキュリティ対策として有効な「ワンタイムパスワード」のご案内と、利用促進に努めて参ります。

以 上